

平成 25 年 7 月号

メンバー、ボランティア、学生
みんな仲間!

けやきと仲間 めーる



こころの病と闘っている人々と千葉大学生や周囲地域との協働の会 地域活動支援センター「けやきと仲間」

平成 25 年 7 月 1 日(第 99 号)



畑の棚にみんなで日よけの屋根(よしず)を取り付けました。

6月3日(月)の園芸作業報告です。

1. 天気：良好
2. 作業内容：草取り、キンセンカ花摘み、サニーレタス・スイスチャード・ルッコラ・ラベンダー・マロー収穫、ローズマリー剪定

【本日の来客】

千葉大教育学部生活科1年生の方と小学生の方数グループ計20名ほど

「小学生と交流しよう」／畑の見学⇒各グループ毎にテーマを持って交流だそうです。

①Q.「柏の葉が、北口の畑近くにあると聞いて来たのですが？」⇒A.「薬学部の薬草園にはあると思います。(行き案内内)」

②皆さんそれぞれにデジカメで畑の気に入った物を撮る。

*桑の葉と熟した実を取り、「食べられますよ、どうぞ」と言ったら恐る恐る口にして「あっ、甘い、おいしい！」の声、楽しかったです。

③最後に来られたグループの方たちの中に、担任らしい先生がいらして、プルーンの木に実がついているのを見て、子供たちに知らせる。皆寄ってきて中にはデジカメで撮る子たちもいた。

*Q.「ここはどこの方たちが作っている畑ですか？」⇒A.「精神障害者のグループで作っている畑です。私もその一人です。」 「開放的な場所なので、毎年何かかんか、収穫直前になくなっていることがあります。それが原因で出て来られなくなった人もいます。ここ数年、そんなことが続いています。」

などと世間話をして終わりました。またどうぞお越し下さいね。

権 順華

<ボランティアさんから>

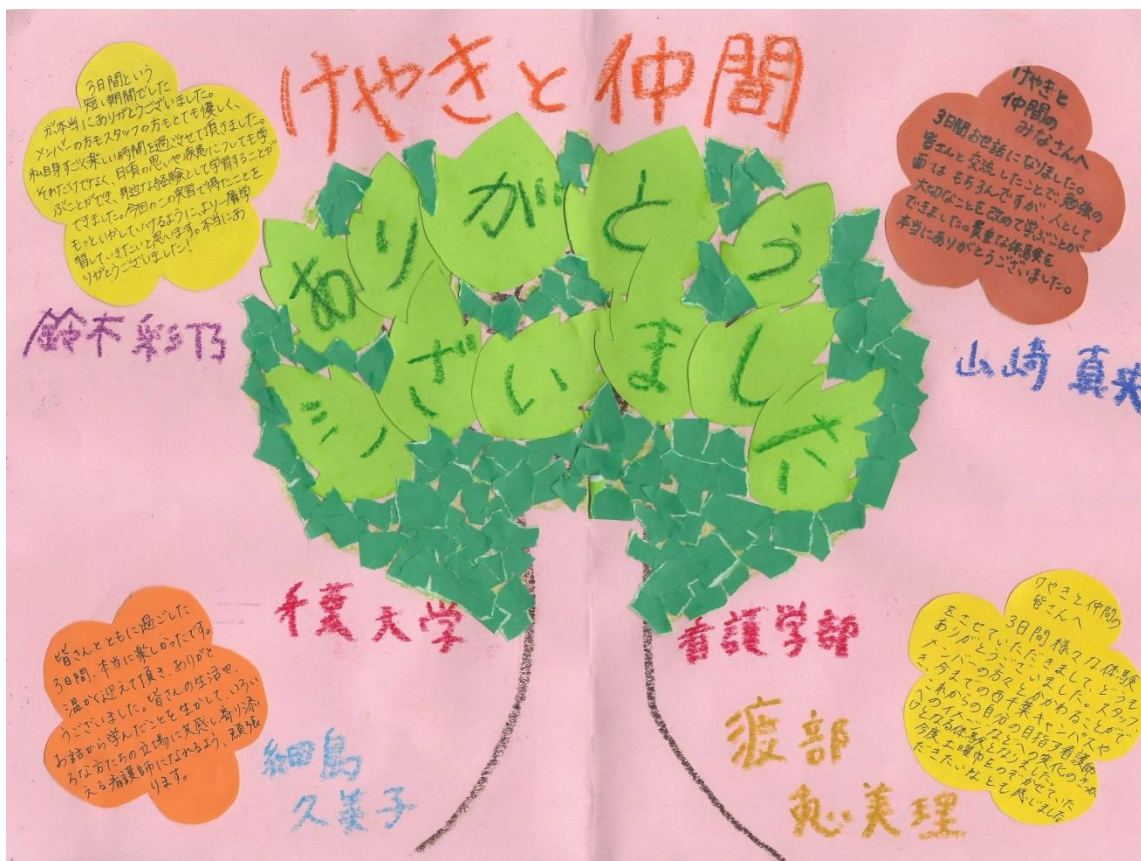
ハロー。詳しい報告をありがとうございました。

子供たちの見学、楽しいけれど作業は進みませんでしたね～～(^-^)

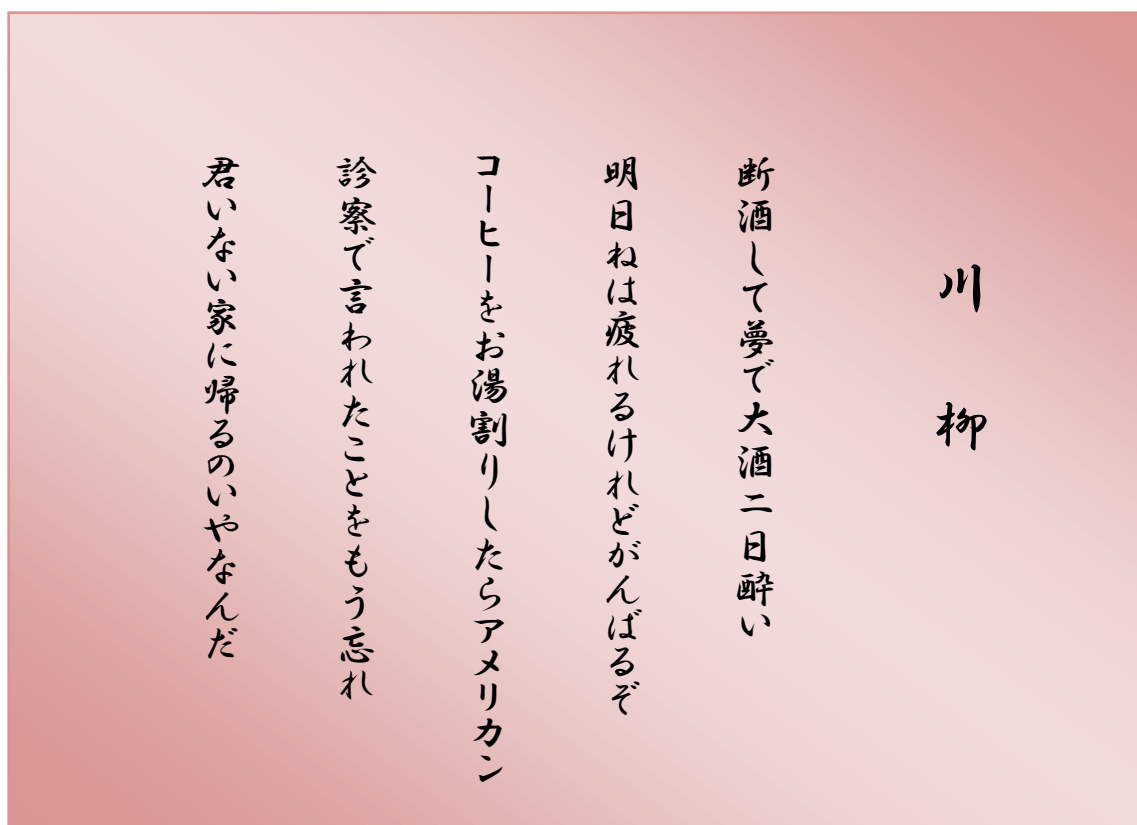
スーナさんの対応、素敵でしたよ。

馬田 文子





5月に当所で実習された千葉大看護学部学生4名から寄せ書きをいただきました。



福祉セミナー「みんなが元気になるために～みんなで歌おう～」に参加しました。

当会からはメンバー8人に加え、家族、ボランティア、スタッフら総勢16人が参加しました。

以下、メンバーさんからの感想です。

「すごくフレッシュな感じ。4年目なのに何回出ても新しいこと用意してくてくれる。」

「今までしてきたことも出してきて、そのときのことを思い出せて楽しかった。」

「たけのこ工房の先生なのにけやきのことも覚えていてくれた。」

ご自分も楽しんでいる様子で明るくて良かった。」

「ピアノ伴奏の荒瀬先生がしっかり支えてくれている感じ。」

控えめな方みただけど花束をよろこんでくれてうれしかった。」 など

みんなが元気になって帰ってきました！

また、たけのこ工房さんのメンバーさんからメッセージをいただきました。

「先日の音楽セミナーはお疲れ様でした。楽しかったですね!(^_^)!

じゃんけんやあっち向いてホイ、皆で笑おうなどは我々たけのこ工房が前もって考えていて、楽しんでいただき大変うれしく思っています。私も様子を見てまた「仲間」としてそちらにお邪魔しようかと思えます！！

ではでは皆様の体調が崩れず自分たちの目的に向かってまい進できるよう、お互い頑張り過ぎずに行きましょう！！」



コンサートにご招待いただきました。

「第11回日韓親善 男性合唱演奏会」6月15日(土) 東京すみだトリフォニーホール

出演：韓国男聲合唱團 1958、男声合唱団東京リーダーフェル 1925

榎隆彰さんのお知り合いの広山貞夫様(東京リーダーフェル 1925 所属で、今回の日韓親善プロジェクトメンバーとしてご活躍されています。)のご厚意で、上記のコンサートにご招待をいただき、鑑賞してきました。

【鑑賞記】

心に響きわたる合唱と、力強い指揮者の動き、流れでるようなピアノの音色とともに、観衆が一体となり、感激で自分の顔が紅潮していました。♡♡

万国共通の歌声は親善大使ですね～。次の機会が待ち遠しいです。ありがとう！

松山 美千子

友人と二人で鑑賞させていただきました。彼女も男声合唱は初めてだったのですが二人して円熟された男声合唱にすっかり魅了され、帰りに「5年は長生きできるわね。105才だわ、お互いにねえ」と話しました。

3rd、4th stageに話は集中。1st、2nd stageより、情景等を感じ取りやすく、友人は4th stageの「荒城の月」に心奪われた様子でした。私は初めて耳にした民謡ばかりでしたが、何故か全身でリズムをとっている自身に驚きを隠せませんでした。機会があれば是非この感動を忘れることなく、日本人の友とまた共有したいと思います。

権 順華

韓国男聲合唱團 1958
男声合唱団 東京リーダーフェル 1925

後援
駐日韓国大使館 韓国文化院
公益財団法人 日韓文化交流基金
日本男声合唱協会
東京都合唱連盟

ハモニイの絆は
より太く、より強く。

第11回 日韓親善 男声合唱演奏会

プログラム

第1ステージ 韓国男聲合唱團 1958
指揮者：金弘植 ピアニスト：朴秀娟
■GLORIA "Dixit Dominus" 作曲：GF. ヘンデル
■愛する心 作曲：林鈴秀 / 編曲：林惠珍
■Cantate Domino 作曲：朴志訓

第2ステージ 男声合唱団東京リーダーフェル 1925
指揮者：橋本英一 ピアニスト：佐藤季里
■愛の詩集より 作曲：リヒルト・シュトラウス / 編曲：橋本英一

第3ステージ 韓国男聲合唱團 1958
指揮者：金弘植 ピアニスト：朴秀娟
■ウルサン娘 作曲：金熙祥 編曲：金俊範
■雄千江打令 全羅道民謡 編曲：禹孝元
■ワフルワリチョンチョン 慶尚道民謡 / 作曲：朴正善

第4ステージ 合同演奏
指揮者：金弘植、岩佐逸彦 ピアニスト：朴秀娟
■故郷の歌(韓国曲) ■荒城の月(日本曲) ■高太郎節(日本曲)
■ブッチーニ：オペラ「トゥーランドット」より 誰も寝てはならない

日時 2013.6/15(土) 14:00開場
14:30開演

会場 すみだトリフォニーホール(大ホール)

S席：¥3,500 A席：¥2,500 B席：¥1,500 全席指定

お問い合わせ先
090-9847-7902(海宝) <http://www.tokyo-tafel.com>

●JR総武線「錦糸町駅」北口徒歩3分
●東京メトロ半蔵線「錦糸町駅」北口徒歩5分
●都営バス「錦糸町駅」下車徒歩3分

NPO 定例総会が開催されました。

5月26日のNPO総会にて、平成25年度のNPO役員は、理事長には平鹿百合子（施設長）、副理事長には大庭茂男（家族会会長）、理事には加瀬智之（メンバー）、廣井良典（千葉大学教授）、堀内勝（家族会）、本田ともみ（ボランティア）、宮本博文（ボランティア）、荒井陵（スタッフ：新任）、高橋みどり（ボランティア：新任）、吉川亮（㈱プロシードジャパン社長：新任）、監事には藤田裕子（ボランティア）（以上敬称略）に決まりました。

新任理事からのご挨拶

荒井陵さん から

お世話になっております。スタッフの荒井です。今年度より、けやきと仲間の理事をやらせていただくことになりました。

私が初めてけやきと仲間に出会ったのは一昨年の10月になります。それまでは江戸川区の福祉現場でヘルパーとして働いておりましたが、けやきと仲間のスタッフの方々の専門性の高さに驚きを感じ、またそれは同時に、フィールドこそ異なりますが自身のこれまでの介助に対する認識の甘さ、意識の低さを私に内省させるものもありました。そして、初めてふれる精神疾患を持つ方々の優しさや力にはそれ以上の感動を感じたことを覚えております。

私は現在、淑徳大学大学院で臨床心理学を学んでおり、また、千葉市若葉区に「あすぴれんと」という地域活動支援センターを作るために活動中であります。自身の学びや活動をより豊かなものにするためにもこの経験は貴重なものになると考えています。まだまだ学生の身であり、至らぬ点も多いかと思いますが、精一杯努力致しますので温かく見守っていただければ幸いです。よろしくお願いいたします。

高橋みどりさん から

昨年の6月から、プログラムの一つの創作書道を担当しています。私は15年位前から、障害のある子供達と一緒に絵画・書道・オブジェを制作しています。そこで障害を持つ人たちの素晴らしい作品に出会い、その作品を国内外に紹介するお手伝いをしています。皆さんに関係する事で、お役に立つことができると思うのはCL（Constructive Living：建設的な生き方）を勉強しています。これは「どんな感情や考えがあっても、『今』なすべきことを探し、目的に沿った行動をする」という教えです。

「けやきと仲間」と、これからいい関わり方ができたらと思います。よろしくお願いいたします。

吉川亮さん から

新しく理事になりました、吉川亮です。私は松波で生まれ、大学まで西千葉で過ごしました。そして、そのままこの街で人材育成の会社を起業して事業活動を行っています。地域での活動として西千葉で流通している地域通貨ピーナッツに関わり、第三土曜市というお祭りを西千葉駅前で開催しています。「けやきと仲間」へその土曜市への出店をお誘いしたことがきっかけでこれまで長くお付き合いをしてきました。そして、昨年からは轟町のふれあい広場「けやきんち」の運営にて、さらに関係を深めてまいりました。

本業の会社では、学生のキャリア支援をしておりますが、平日頃彼らに伝えることは、自分の価値観や世界とは異なる人とのつながりが、自分の可能性を広げることにつながるということです。土曜市に出店したり「けやきんち」で仕事をしたりと、少しずつでも利用者の方が異なる世界に足を踏み出し、活力を得られるような環境づくりに貢献できればと思っております。これからお世話になりますが、よろしくお願いいたします。

